

東大野球部メールマガジン Vol.195

ごあいさつ

暑い日が続きますが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

弊部では、先週末に京都大学との定期戦「双青戦」、そしてソウル大学との親善試合を行いました。双青戦では、先制され終盤までリードを許す展開となりながらも、8回に石元内野手(2年・桐朋)の走者一掃適時二塁打が飛び出し逆転勝利を収めました。対ソウル大学戦では、星川外野手(4年・開成)の本塁打などで得点を重ね、最終回に追い上げられるも1点差で逃げ切ったの勝利となりました。また試合後には三校合同のレセプションが開催され、交流を一層深めることができました。

今週金曜日からは約2週間の試験オフ期間となります。野球だけでなく、勉強にもしっかり励んでまいります。

今後とも東大野球部をどうぞよろしく願いいたします。

今回の特集 「イチオシルーキー」

今回の特集は、「イチオシルーキー」です。イチオシの1年生たちを、エピソードとともに上級生に語ってもらいました。

溪 亮 (4年・投手・浅野)

もちろんカン・クマベ(隈部敢・1年・外野手・浅野)です。どういうことか。彼は”浅野高校出身”というだけで奇異の目で見られています。大変に大きな責任を感じるとともに、外野手という激烈な縦社会でアウトローとして頑張って(?)欲しいと期待しているからです。素直に応援しています！



(左)溪投手、(右)隈部外野手

濱崎 貴介 (3年・投手・鶴丸)

僕のイチオシルーキーは、鶴丸高校での2つ下の後輩である櫻木(1年・外野手・鶴丸)です。彼の魅力はガッチリとした体から放たれる強い打球です。しかし浪人明けということもあり、まだまだ本来の動きを取り戻してはいないと思います。これから肉体にさらに磨きをかけ、田口さん(H30卒)や楠田さん(H30卒)といった素晴らしいスラッガーを超えるようなプレイヤーに成長して行って欲しいです。



(左)濱崎投手、(右)櫻木外野手

辻居 新平 (3年・外野手・栄光学園)

私のイチオシルーキーは吉田光(1年・捕手・栄光学園)です。彼は我が母校栄光学園の1個下の後輩であり、栄光野球部においてもキャプテンを私から引き継いだ男です。同じキャプテンでも彼は私とは比べ物に

ならないほど真面目な男で、献身的にチームをよくまとめていたそうです。そんな真面目な人間だからこそこれからの大学野球生活には苦勞が多いかもしれませんが、彼がそれらを一つ一つ乗り越えていくことを期待し、ときには支えながら見届けたいと思います。またライバルの聖光学院からも3人が入部し多くの軟式出身者がこの部に集いつつあることは本当に嬉しい限りですが、真に集うべき場は神宮の舞台ただ一つ。勝利を目指して共に頑張ろう。



(左)辻居外野手、(右)吉田捕手

澁谷 恒平 (2年・捕手・筑波大附)

僕の注目ルーキーは横井(1年・外野手・聖光学院)です。実は、彼は僕と同じ少年野球チーム用賀ベアーズ出身で、少しの間共に野球をしていました。どういうわけか、2歳年下であったはずの彼が1学年下となって入部してきたことには憤りを覚えました。何はともあれこれは喜ばしいことです。かつてのイメージとは違い、たくましい体つきになり、豪快なスイングを見せ、球場に持ち込んだカウンタースイングを共用バットの如く使われている彼に、僕は注目しています。



(左)澁谷捕手、(右)横井外野手

有賀 雄野 (2年・内野手・都立西)

僕のイチオシルーキーは辻村和樹(1年・内野手・県立千葉)です。学生コーチの辻村さん(辻村真樹・3年・県立千葉)を兄にもつことで話題性がありますが、野球の実力も十分です。フレッシュリーグでも1年生ながら堂々とプレーしておりとても頼もしく思えます。特筆すべきは守備です。柔らかいハンドリング技術をもっており同じポジションとして自分も勉強させてもらっています。今後の成長もとても楽しみです。ぜひ彼のプレーに注目して下さい。



(左)有賀内野手、(右)辻村和樹内野手

編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

今回は「僕の勉強方法」と題し、東大野球部員おすすめの勉強方法を教えてもらいます。どうぞお楽しみに！

今後とも東大野球部をよろしく願います。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向丘 1-5-9 一誠寮

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等

ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。